

ほけんだより 6月

さわやかな緑に恵まれ、キラキラ輝く太陽の下で、子どもたちは毎日元気いっぱい遊んでいます。もうすぐ梅雨の季節に入ります。温度・湿度とも高くなり、また天気が変わりやすいこの時期は、もっとも体調を崩しやすくなります。過ごしやすい環境づくりに配慮し、気持ちよく毎日を過ごせるよう工夫していきましょう。



手足口病・水痘(水ぼうそう)に注意しましょう

先月末頃より、園では手足口病、水痘(水ぼうそう)にかかるお子さんがいました。どちらとも発熱や発疹を伴う病気です。お子さんの体を毎日よく観察していただき、気になる発疹がありましたら、早めに病院を受診していただきますようお願いいたします。

6月4日は
虫歯予防デー

脳の働きが
活発になります

かむことは大切

あごの骨や
筋肉の成長を
助けます

だ液の分泌が
盛んになり、
消化を助けます

歯肉に刺激が伝わり、
歯を支えている骨や組織が
丈夫になります

だ液の分泌により、
食べかすが歯に付くの
を防ぎます

歯みがきの習慣を身につけよう

歯みがきの習慣づけが、むし歯予防の第一歩です。園でも3才以上児さんは昼食後に歯みがきを行っています。ご家庭でも食後はすぐにみがく習慣をつけましょう。

～仕上げみがきのポイント～

1. 小さ目の歯ブラシを使う
2. 毛先をみがく面にまっすぐあてる
3. 軽い力で動かす
4. 1本づつみがく様に小刻みに動かす

※4月の検診で治療の必要があった子どもさんで、まだ治療をされていない方は早目の治療をお願いします。一生の財産である「歯」をしっかり守りましょう。

「歯の健康のつどい」があります

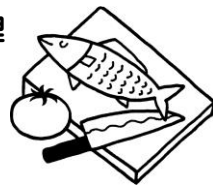
6月8日(土)伊都文化会館で令和元年度「歯の健康のつどい」があります。引津保育園からは石川夏向くんと跡部もなさんが歯の健康優良児で園児表彰を受けます。いろいろな催しもありますので、都合のつく方はぜひ足を運んでみてください。

～食中毒に注意しましょう～

じめじめした梅雨から夏にかけては、食中毒の原因になる細菌が活動しやすい気温と湿度がそろうため、食中毒が発生しやすくなります。

- ・こまめな手洗い
- ・新鮮な食材
- ・十分に火の通った調理
- ・調理器具の消毒

などを心がけ、食中毒を予防しましょう。



6月の行事予定

- 6月 1日(土) 布団洗濯日
- 6月 3日(月) 布団オゾン乾燥・朝バスなし
- // 身体測定(以上児)・絵本配本
- 6月 4日(火) 身体測定(未満児)
- 6月 5日(水) 芋苗植え(お弁当の日)
※芋苗植え予備日…6/8(土)
- 6月 10日(月) 避難訓練
- 6月 14日(金) スイミング体験(ゆり組)
- 6月 19日(水) お誕生会
- 6月 26日(水) 海岸清掃(ゆり組)
- 6月 28日(金) 布団洗濯日①
- 6月 29日(土) 布団洗濯日②



手足口病

原因 コクサッキーウイルスやエンテロウイルスによる飛沫感染。

症状 手のひらや足の裏、口の中に小さな水ぼうや赤い発しんがで、熱が出ることも。

対応 3～5日で治る。元気があれば登園できるが、まれに髄膜炎などの合併症を起こすことがあるので、頭痛やおう吐を伴う発熱が3日以上続くときは、すぐに受診を。
※登園届が必要です。



水痘(水ぼうそう)

潜伏期間は2～3週間。

微熱がでると同時に体のやわらかいところに発疹がで、半日～1日で、顔や口の中、胸、背中、手足から頭皮の中にまで全身に広がります。発疹は直径2～5mmくらいの赤い斑点で、中央に水泡が出来ます。発疹がすべてかさぶたになるまで登園停止です。かゆみが強いので、かきむしらないよう注意しましょう。

※意見書が必要です。



蚊が出る季節になりました



最近、園でも蚊に刺されるお子さんが増えてきました。かゆみは集中力を低下させ、イライラする原因にもつながります。また、かきむしって浸出液が出ると「とびひ」の原因にもつながります。園でも虫よけグッズやオーガニックの虫よけスプレーなどを利用して予防に努めていますが、体質的に蚊に刺されやすかったり、肌が弱い子どもさんは、家庭でも虫よけパッチ(シール)やスプレーの利用などで予防に努めて頂きますようお願いいたします。

※園で蚊に刺された場合は、子ども用のムヒにて対応します。

気をつけよう!アタマジラミ

昨年、園ではアタマジラミが流行しました。アタマジラミは人の髪の毛に寄生して、頭皮の血を吸うのが特徴で、かゆみと炎症が起こります。卵は細長い楕円形で、髪の毛の根元にへばりついてなかなか取れないのでフケとは違うことが分かります。

①毎日シャンプーを

大人が髪の毛の根元までしっかりシャンプーします。感染したら3日に1回は家族全員で「スミスリンシャンプー」で洗います。



②寝具類は毎日干して

天候や住宅事情などで干せない時は広げたまま風を通します。シラミは40℃を超えると弱り、55℃で死滅するので布団乾燥機を使うのも良いでしょう。干した後は死がいが出てくるので寝具の表面を掃除機で吸い取ります。

③衣類や室内を清潔に

パジャマなどの衣類も毎日取り替えましょう。また、掃除機をこまめにかけ、カーペットや布のソファはシラミが潜り込みやすいので、なるべく取り除きましょう。



④卵がないかチェック!

シラミの卵は、薄暗い所や電灯の光などではよく見えません。日光の下でよく点検しましょう。

